

**セキュアメールサーバプライアンス****『E-Post Mail Server V シリーズ』 4モデルの販売を開始**

～単体ソフトウェアも同時販売～

メールサーバソフト開発・販売会社の株式会社イー・ポスト(本社:東京都新宿区、代表取締役:今西和也 <http://www.e-postinc.jp/> TEL:03-5272-5386)は、この度、セキュアメールサーバプライアンス「E-Post Mail Server V(イーポストメールサーバV)」シリーズ4モデルを開発し、2018年2月16日より販売を開始いたしますのでご案内申し上げます。

当社のメールサーバ製品である「E-Post Mail Server シリーズ」は、国産の Windows メールサーバ製品として一般企業だけでなく中央省庁や自治体、教育機関へも数多く導入されています。

昨今のメール環境は、クラウド環境への移行がトレンドですが、オンプレミスでのニーズは根強いものがあります。当社ではかねてより、Windows 系以外の製品はないのかという声が多く寄せられており、この度、BSD 系への移植が完了しましたので、プライアンス製品として販売を開始いたしますこととなりました。Windows 系と違い、今まで費用の掛かっていたサーバ OS 費用や Windows CAL のライセンス費用が不要になるだけでなく、プライアンス製品ですので、インストール、構築作業が軽減され大幅な費用削減と導入期間の短縮に寄与します。さらに militer 機能搭載により、他製品のアンチウイルス、アンチスパムなどメールフィルタ製品との連携も可能で拡張性が広がります。

今回、販売する4モデルは、Standard 版の「E-Post Mail Server V」とアンチウイルス、アンチスパムフィルタ機能搭載したセキュアモデルの Enterprise 版と、同じく SMTP ゲートウェイとして威力を発揮する SMTP サーバの「E-Post SMTP Server V」(Standard 版と Enterprise 版)になります。対象は 250 名規模の組織・企業になります。なお、Web メールと上長承認機能が標準搭載。価格はオープンプライスとなります。

**【製品名と参考価格】**

・メールサーバプライアンス「E-Post Mail Server V Standard」(型番:EP-BEPMSV-S0250-PMR)

(参考価格:¥1,200,000)

・セキュアメールサーバプライアンス「E-Post Mail Server V Enterprise」(型番:EP-BEPMSV-E0250-PMR)

(同:¥1,500,000)

・SMTP サーバプライアンス「E-Post SMTP Server V Standard」(型番:EP-BEPSSV-S0250-PMR)

(同:¥960,000)

・セキュアSMTPサーバプライアンス「E-Post SMTP Server V Enterprise」(型番:EP-BEPSSV-E0250-PMR)

(同:¥1,200,000)

※いずれも税別

※そのほかのユーザ数をお求めの際は、ソフト単体販売およびアプライアンス別途カスタマイズにより承りますので、お気軽にお問合せください。

#### 【販売目標】

年間 100 セット

#### 【販売開始時期】

2018 年 2 月 16 日

#### 【主な特長】

- ・長年 Windows 環境で培った豊富な「E-Post Mail Server」シリーズの安定稼働の実績を踏襲。
  - ・パワフルなエンジン、万全のセキュリティ、安心のサポート体制を実現。
  - ・BSD 環境により、サーバ OS 費用や Windows CAL ライセンス費用など初期コストを軽減。
  - ・インストール作業や構築作業が不要で、導入期間を大幅に短縮。
  - ・Web ブラウザからの完全管理、BSD コンソールへのアクセスも可能。
  - ・マルチドメイン管理やメーリングリスト、SMTP 認証、SSL/TLS、AD 連携(LDAP)、各種ログ管理など Windows 版 E-Post Mail Server シリーズの機能を踏襲。
  - ・上長承認機能(E-Post Boss Check Server)を標準装備。
  - ・「認証接続ロックアウト」機能搭載でセキュリティ対策を強化。
  - ・Enterprise 版は、アンチウイルス機能に加え、不審メール防御・標的型攻撃防御、スパムメール排除に威力を発揮する Secure Handler(セキュアハンドラ)機能を搭載。
  - ・E-Post SMTP Server V シリーズは、セキュアで配送能力の高い SMTP ゲートウェイとして活用可能。
- E-Post Mail Server V シリーズでは、Web メール「RainLoop」をバンドル済み。1 台でメールサービスを提供可能。
- ・militerインタフェースを備え、他社のメールフィルタ機能製品との連携可能。
  - ・ソフトウェア単体販売により、小規模の 50user から大規模 10000user までのライセンス提供も可能。アプライアンス提供についてもカスタマイズ対応。

#### 【主な仕様】

E-Post Mail Server V シリーズ / E-Post SMTP Server V シリーズ 機能一覧表				
製品名	E-Post Mail Server V Standard (*0)	E-Post Mail Server V Enterprise (*0)	E-Post SMTP Server V Standard (*0)	E-Post SMTP Server V Enterprise (*0)
配送性能 (運用環境により変動)	~30 万通/時間 (*1)	~数万通/時間 (*2)	~30 万通/時間 (*1)	~数万通/時間 (*2)
管理ドメイン数	最大 512 ドメイン			

対応プロトコル	SMTP/POP3/IMAP4 (*3)	SMTP
暗号化通信 (SSL/TLS/STARTTLS)	SMTP over SSL、POP3 over SSL、IMAP4 over SSL (*4) STARTTLS (SMTP)、STARTTLS (POP3)、 STARTTLS (IMAP4)	SMTP over SSL (*4) STARTTLS (SMTP)
SMTP 認証 (SMTP AUTH)	○ (*5) (PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5)	
SMTP 認証 送信者の信頼度設定	○ (3 段階: SMTP 認証 ID・SMTP 認証 ID=エンベロープ ・SMTP 認証 ID=エンベロープ=ヘッダ FROM)	
SMTP 認証 接続ロックアウト機能	○ (設定回数以上 SMTP 認証失敗した同一 IP アドレスに対する指定時間の 接続ロックアウト/指定 IP アドレスに対する永続的な 接続ロックアウト/指定 IP アドレスに対する接続許可)	
SMTP ゲートウェイ テーブル【gateway.dat】 ・フォワード機能	○ (フォワード先固定/対象ドメインごとの振り分け/ 対象メールアドレスごとの振り分け)	
中継の制限機能 【effect.dat】 (SMTP 受信送信 の制限)	○ (IP アドレスや接続ドメイン名、メールアドレスでの許可・接続拒否、 中継の許可・禁止など)	
ORDB 参照機能 【ordb.dat】 (DNSBL 方式)	○	
SMTP 配送の 詳細設定	○ (全体共通設定 永続的拒絶時のリトライ/ 一時拒絶時のリトライ/サーバ無応答時のリトライなど)	
SMTP 配送の利用時間 設定【usetime.dat】	○ (*6) (全体共通設定)	
SMTP 受信 メールサイズ制限 ・同報数制限	○ (全体共通設定)	
メールボックス 保管サイズ制限	○ (全体共通設定)	
メールフィルタ設定	○	

【mail.dat】	(全体共通設定 タイトル/本文/ヘッダ/URI/BL [SURBL] サイト参照/ 拒否/タグ付け通過/指定アカウントへの転送など)	
SURBL/URI/BL 方式 による参照機能	○ (上記メールフィルタ機能に用意)	
POP3 認証 接続ロックアウト機能	○ (設定回数以上 POP3 認証失敗した同一 IP アドレスに対する指定時間の 接続ロックアウト/指定 IP アドレスに 対する永続的な接続ロックアウト/ 指定 IP アドレスに対する接続許可)	—
IMAP4 認証 接続ロックアウト機能	○ (設定回数以上 IMAP4 認証失敗した同一 IP アドレスに対する指定時間の 接続ロックアウト/指定 IP アドレスに 対する永続的な接続ロックアウト/ 指定 IP アドレスに対する接続許可)	—
E-Post 方式 ユーザー管理	○	
ActiveDirectory ユーザー管理との 連携 (LDAP)	○ (*7)	△ (*8)
OS アカウントとの 連携管理	○ (*9)	△ (*10)
ア カ ウ ン ト 別 設 定	自動転送設定	○ (*11) (自動転送時の送信元指定など)
	自動応答設定	○ (*11,*12)
	追加処理プログラム	○ (*13)
	メールボックス 保管サイズ制限	○
	個別メール フィルタ設定 【mail.dat】	○
	利用時間設定	○
	送信先制限設定 【sender.dat】	○ (指定アドレス・ドメインの送信許可/送信禁止)

上長承認設定 【sender.dat】	○ (*14) (上長への承認依頼メールの設定)			
SMTP 受信制限 設定 【effect.dat】	○ (*15) (指定アドレス・ドメインの受信許可／受信禁止)			
SMTP 認証設定	○ (認証あり・認証なし)			
APOP 認証設定	○ (*16) (認証あり・認証なし)	-		
POP3 認証設定	○ (有効・無効)	-		
IMAP4 認証設定	○ (有効・無効)	-		
アカウント情報 のインポート・ エクスポート	○ (*17)			
エイリアス	○ (*18)			
メーリングリスト機能	○ (連番、表題、Reply-To:ヘッダ、投稿パスワード、 添付ファイル削除、投稿内容保管など)			
上長による承認／却下機能	○ (*19) (承認依頼メールによる上長の承認／却下の実行)			
対応 IP バージョン	IPv4／IPv6			
ログ取得機能	接続マシン／ SMTP 受信／ SMTP 送信／ SMTP ローカル送信／ SMTP 配送失敗／ SMTP 配送詳細／ SMTP 受信詳細／ POP3 受信／ IMAP4 受信／ POP3 受信詳細／ IMAP4 受信詳細  (*20)	接続マシン／ SMTP 受信／ SMTP 送信／ SMTP ローカル送信／ SMTP 配送失敗／ SMTP 配送詳細／ SMTP 受信詳細／ POP3 受信／ IMAP4 受信／ POP3 受信詳細／ IMAP4 受信詳細  (*20)	接続マシン／ SMTP 受信／ SMTP 送信／ SMTP ローカル送 信／ SMTP 配送失敗／ SMTP 配送詳細／ SMTP 受信詳細／ - - - -	接続マシン／ SMTP 受信／ SMTP 送信／ SMTP ローカル送信 / SMTP 配送失敗／ SMTP 配送詳細／ SMTP 受信詳細／ - - - -

			(*20)	(*20)
管理面の セキュリティ	○ (システム環境パスワード/ドメイン管理パスワード/メールボックスフォルダ のデータ暗号化/アカウント情報エクスポート時のパスワード暗号化)			
Web 管理機能 (システム管理)	○ (*21) (システムログインパスワード/DNS サーバ/デフォルトゲートウェイ/ システム停止・再起動/設定情報バックアップ・リストア)			
Web 管理機能 (メールサーバ管理)	○ (*21) (3 階層:システム管理者・ドメイン管理者・個別ユーザー)			
Web 管理機能 (Secure Handler 承認管理)	—	○ (*21) (保留メール閲覧に よる許可・拒否 判定操作/強制拒否 (ブラックリスト) /強制許可 (ホワイトリスト)	—	○ (*21) (保留メール閲覧に よる許可・拒否 判定操作/強制拒否 否 (ブラックリスト) /強制許可 (ホワイトリスト)
コマンド操作機能 (コンソール機能)	○ (システム環境/ドメイン管理/アカウント管理/ エイリアス設定/メーリングリスト設定など)			
mlter インター フェース機能	○ (*22)			
アンチウイルス機能 [ファストスキャン Anti-Virus エンジン]	—	○ (*23) ウイルスメール隔離 ウイルス発見時 のメール通知/ ウイルス検出ログ/ パターン更新 記録ログ	—	○ (*23) ウイルスメール隔離 ウイルス発見時 のメール通知/ ウイルス検出ログ / パターン更新 記録ログ
Secure Handler 機能 による総合的なメール	—	○ (*24)	—	○ (*24)

<p>セキュリティ対策 (詳細は別表を参照)</p>		<p>怪しい不審メール 防御、標的型攻撃 メール防御、スパム メール排除等</p>		<p>怪しい不審メール 防御、標的型攻撃 メール防御、スパム メール排除等</p>
<p>迷惑メール対策 (まとめ)</p>	<p>・ORDB 参照機能 (DNSBL 方式) ・メールフィルタ による SURBL/ URIBL 参照機能</p>	<p>・Secure Handler によるスパムサイト DB マッチング判定 &amp; ・ORDB 参照機能 (DNSBL 方式) ・メールフィルタ による SURBL/ URIBL 参照機能</p>	<p>・ORDB 参照機能 (DNSBL 方式) ・メールフィルタ による SURBL/ URIBL 参照機能</p>	<p>・Secure Handler によるスパムサイト DB マッチング判定 &amp; ・ORDB 参照機能 (DNSBL 方式) ・メールフィルタ による SURBL/ URIBL 参照機能</p>
<p>簡易アーカイブ (メールバックアップ)</p>	<p>全メール複写機能 及び ジャーナル機能</p>			
<p>(*0) BSD 版 E-Post V シリーズはすべて 64 ビット版です。</p> <p>(*1) ネットワーク負荷のない理想的な環境でのメールサイズ 2~3KB 程度による試験結果です。なお、アンチウイルス機能を持つ Enterprise 版での配送能力は、アンチウイルス機能を搭載しない Standard 構成に比べて、約 1/3~1/10 程度に下がります。メールフィルタの設定を多数登録しているときも、設定量だけ負荷がかかり、配送能力はその分低下します。</p> <p>(*2) ネットワーク負荷のない理想的な環境でのメールサイズ 2~3KB 程度による試験結果です。メールフィルタの設定を多数登録しているとき、設定量だけ負荷がかかり、配送能力は低下します。</p> <p>(*3) POP3 プロトコル使用時は、1 サーバ 10000 ユーザークラスの大規模利用でも、サーバの能力さえあれば理論的に問題は少なく使用実績もあります。一方、IMAP4 プロトコル使用時は最大でも 1 サーバ 500~1000 ユーザークラスを目途にすることを推奨します。</p> <p>(*4) SSL 通信を検証するだけなら自己認証局でも十分ですが、本格運用にあたっては正規の認証局(GA)による証明書の発行と取得が必要です。</p> <p>(*5) 認証ファイルによりユーザーごとの SMTP 認証有無設定が可能です。</p> <p>(*6) 利用するには全体共通設定の設定ファイル usertime.dat をコンソールから直接記述設定する作業が必要です。</p> <p>(*7) Active Directory 連携は LDAP による管理方式です。POP3 認証時または IMAP4 認証時のユーザー名・パスワード部分が連携されます。SMTP ではユーザー情報のみが連携されます。SMTP 認証パスワードは連携しません。</p> <p>(*8) SMTP ではユーザー情報のみが連携されます。SMTP 認証パスワードは連携しません。</p> <p>(*9) POP3 認証時または IMAP4 認証時のユーザー名・パスワード部分が連携されます。SMTP ではユーザー情報のみが連携されます。SMTP 認証パスワードは連携しません。</p> <p>(*10) SMTP ではユーザー情報のみが連携されます。SMTP 認証パスワードは連携しません。</p> <p>(*11) 自動転送機能と自動応答機能とは排他でいずれかの設定が可能です。両方とも有効にする設定はできません。</p> <p>(*12) Web 管理画面から自動応答文を登録すると、強制的に JIS (iso-2022-jp) に変換して登録されます。</p>				

- (\*13) 追加処理プログラムで指定できるのは標準コンソールで動作するプログラムやスクリプトのみです。
- (\*14) 上長承認(BossCheck)機能は、Secure Handler 機能と同時に使用することはできません。Secure Handler 機能を使用しているときは上長承認(BossCheck)機能は利用できません。
- (\*15) アカウント単位の設定ファイル effect.dat は[送信先制限(sender.dat)]の入力項目を[送信先制限(effect.dat)]と入力すると effect.dat の編集が行えます。
- (\*16) APOP 認証と SMTP 認証で使われる認証ファイルは共用です。
- (\*17) タブ区切り形式テキスト(TSV)により可能です。エクスポート時にはレコードの行末は LF となります。インポート時のレコードの行末は LF および CRLF が有効です。
- (\*18) エイリアスは実アカウントとの関連づけが原則です。エイリアスどうしの関連づけは対応しません。なお、作成エイリアスは必要ライセンス数としてカウントされます。
- (\*19) 上長側が承認・却下するメールソフトは、RFC で規定されている mailto リンクが使用可能である必要があります。mailto リンクが正常に働かない Web メールソフトでは対応が困難なことがあります。また、Secure Handler 機能と上長承認(BossCheck)機能を同時に使用することはできません。Secure Handler 機能を使用しているときは上長承認(BossCheck)機能は利用できません。
- (\*20) 記録ログの行末は LF で改行されます。Windows マシンにダウンロードして開くときには LF コードを改行として認識できるエディタで開いてください。
- (\*21) Web 管理機能は、Apache の Web サーバ環境を利用しています。E-Post V シリーズではすべて設定済みです。
- (\*22) E-Post V シリーズに搭載されている milter インターフェースでは次のソフトウェア clamav-milter / spamass-milter / milter-greylis が動作確認されており、補足マニュアルに設定手順を掲載しています。
- clamav-milter(Clam AntiVirus [クラムアンチウイルス、略称 Clam AV]。SMTP サーバ と clamd のソケット通信を行うプログラム)
  - spamass-milter(SpamAssassin[スパムアサシン]はスパムフィルタリングのプログラム)
  - milter-greylis(受領メールがスパム等の怪しいメールと判断した場合、一時受領拒否し再送されたメールを受領するプログラム)
- (\*23) アンチウイルス機能は SMTP 受信するメールに対してのみ働きます。マシン全体のウイルス SpamAssassin(スパムアサシン)ス検査はできません。Anti-Virus エンジンのファストスキャンは、株式会社ケイ・テックの製品です。
- (\*24) Secure Handler 機能は、Enterprise 版に実装されています。くわしい機能は下の表を参照してください。



【会社概要】

- 社名： 株式会社イー・ポスト
- 住所： 東京都新宿区高田馬場 1-33-14 サンフラワービル 〒169-0075

TEL:03-5272-5386 FAX:03-5286-2610

- 設立：2000年7月19日
- 資本金：1000万円
- 代表者：今西和也
- 業務内容：

- ・コンピュータソフトウェアの開発、販売
- ・コンピュータネットワークの企画、開発、設計及びコンサルティング
- ・デジタル情報技術の開発
- ・各前号に附帯する一切の事業

文中、製品名、会社名等は、各社の商標及び登録商標です。

記事掲載時のお問合せ及び、弊社製品に関する情報や質問は、下記へお願いします。

株式会社イー・ポスト 担当：木下

東京都新宿区高田馬場 1-33-14 サンフラワービル 〒169-0075

TEL:03-5272-5386 FAX:03-5286-2610

E-mail: [info@e-postinc.jp](mailto:info@e-postinc.jp)

ホームページ: <http://www.e-postinc.jp/>